

静岡市環境大学2019 講座報告 4日目

演題：地域の自然を再生する

～生物多様性と地域の環境～

常葉大学 名誉教授 山田 辰美様

場所：しずもーる沼上3F研修室

時間：10：45～12：00



講義のポイント

要点1：都市化・近代化で失ったもの

- 昔と比べて自然景観がだいぶ変わった。
- ゆるやかな小川、田んぼで繁殖していたメダカは、最近見かけなくなった。
- 赤とんぼも見かけなくなった。

要点2：こども園の園庭をビオトープ化すると

- ビオトープにすることで、ニホントカゲの子どもや、ジカバチ、ニホンヤモリの子ども等が出現してきた。
- 子ども達が、様々な生き物に触れることができる。

要点3：自然豊かな空間の生き物

- エノキの葉しか食べない、ヤマトタマムシ。エノキを食用とする蝶（オオムラサキ・ゴマダラチョウ等）
- どんぐりの木に集まる虫たち=カブトムシ・クワガタ等

要点4：ケロケロ調査

- 田んぼはビオトープ⇒どんぐち（水生生物の冬越しなどの場）ほれ・江・ひよせ（水生生物の移動・繁殖）
- 乾田化してきたため、湿地性のカエル類は生息しにくい。

受講生の感想

- ◆わかりやすく楽しかった。時間が足りなくて、もっと最後の方まで聞きたかった。
- ◆面白かった。自然が空間というものをつくってくれるのは興味深い。